



# 令和3年度学校説明資料「本校の教育」



学校経営のスローガン

**一人ひとりが夢を持ち、輝ける、神原中学校**

## 1 本校生徒の優れた資質や能力

- 人間関係づくりを大切にしている（先生方を信頼し、学校や仲間が大好きな生徒が多い）
- 自己肯定感の伸びが著しい（学年が上がるごとに「良いところがある」という自覚が）
- 素直で他者を思いやる心が育っている（仲間を大切にし、皆の事を考えられる生徒が多い）
- 集中力、向上心がある（特に活用力・読解力高く、何事にも一生懸命に取り組む）
- 図書館好き・読書好きが多い（読書旬間や図書館内掲示が充実、「読書の質」の向上）
- 小中一貫教育でスムーズに中学生活に適応（コロナ禍でもできることを実践）
- 愛校心が強く、神中の伝統を大切にしている心が育ってきている（創立61年目）
- 地域にも支えられ、見守られ大切にされているという地域への愛着が強い生徒が多い

## 2 本校の目指す教育

【教育目標】

総括目標：『豊かな人間性を持ち、未来を創造する生徒』（小中で統一）

- 具体的目標：
- 1 目標を持ち自ら学ぶ意欲と創造性に満ちた生徒（知）
  - 2 心豊かで思いやりのある生徒（徳）
  - 3 明るく健康でたくましい生徒（体）
  - 4 視野を広げ協働する生徒（コミュニケーション）
  - 5 地域を理解し地域に貢献する生徒（地域）

【校訓】：「剛健進取」・・・心身共にたくましく、チャレンジ精神に富み、常に前向きな考えを持つ

## 3 学校経営目標

- (1) 生徒一人一人が大切にされ、夢や希望を抱いて生き生きと学び、主体的に活動し、自己存在感や成就感・達成感を育むことのできる学校づくり
- (2) 教師が使命に燃え、協働と個性尊重を重んじ自己研鑽と教育実践に励む学校づくり
- (3) 小中一貫教育の充実を図り、情報の提供と相互連携に努め、保護者・地域から信頼される開かれた学校づくり

## 4 学校経営方針 <小中一貫教育を基軸として>

小中一貫教育の充実・発展	H24のモデル校としてのスタートから9年目。【発展に向けて】
学級経営の充実	「さん」付け呼称の徹底と安心できる居場所のある学級「支持的風土のある学級」 <u>一人ひとりが大切にされ、人権が尊重される存在</u>
特別支援教育の充実	支援体制を充実させ、教育的ニーズに応じた合理的配慮の充実
授業改善と指導・評価の充実	「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善の取り組み
生徒指導・教育相談の充実	子どもたちに寄り添った指導・支援
教育環境の整備・充実	安心安全で学びの場にふさわしい潤いのある教育環境づくり
地域に開かれた学校経営の推進	家庭・地域と連携し、 <u>開かれた学校づくり</u> を推進する

## 5 本校の教育実践

<p>確かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒指導の3つのポイントを生かした授業づくり」の充実</li> <li>・「授業における基本事項」「授業の受け方」「1分間スピーチ」の徹底</li> <li>・「聞く態度」「発表の仕方」の指導、全教科で「書く活動」「対話的で深い学び」への授業改善を図り、思考力・判断力・表現力を育成</li> <li>・ICT活用、「StepUp 神原」等による指導の充実</li> <li>・「パワーアップ 神中ノート」の活用による家庭学習（神原ノート等）の充実</li> <li>・各種検定（英検、漢検、数検 等）の奨励</li> </ul>
<p>豊かな人間性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さん」付け呼称等による言語環境の整備</li> <li>・出番づくり、自己存在感や成就感・達成感の育成</li> <li>・道徳の授業や学級活動の充実、生徒会活動の活性化</li> <li>・「キャリアパスポート」を活用し、将来の生き方について考え「自立」に向けたキャリア教育の充実</li> <li>・職業体験・部活動による社会性の育成、ボランティア活動の推進</li> <li>・朝のあいさつ運動、花いっぱい活動の励行</li> </ul>
<p>健康・体力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染症予防の徹底と健康教育の充実</li> <li>・食育に関する情報提供・講話・授業実践</li> <li>・安全指導の徹底と危機回避能力の育成</li> <li>・<b>部活動の活性化と適正化</b></li> <li>・スクールカウンセラー等との連携、時宜を得た教育相談</li> </ul>
<p>小中一貫教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会の取組の充実と発展（新たな取組・検証方法等）</li> <li>・小中合同研修会・授業研究会における相互の学び</li> <li>・小中共通実践事項の徹底</li> <li>・取組内容や実践紹介等を保護者や地域へ積極的に発信</li> </ul>
<p>図書館教育の整備・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を学習情報センターとして位置づけ、各教科・領域において図書館の効果的な活用・充実</li> <li>・神原中独自の推薦図書一覧を活用し、教科書の教材と並行読書も含めた読書活動の充実</li> <li>・学級と図書館の連携を密にし、読書指導の推進強化。図書委員会や学級の係活動の場として、その機能を生かす。</li> </ul>

## 6 家庭（地域）との連携

- ・子どもの良さを見つけて褒める、認める。 → 自己肯定感・自尊感情を育む
- ・子どもとのコミュニケーションを様々な場面とする。 → 家庭や地域の温かい見守りを実感させる
- ・子どもの様子に変化があれば、声かけや相談を（些細なことでも）する。 → 学級担任へも相談を
- ・子ども心身の健康に気を配る。 → 「早寝、早起き、朝ご飯」などの基本的な生活習慣の定着を

### 学校・家庭・地域と協力連携

神原中の子どもたちが**将来、必要となる資質や能力を保護者や地域とともに育む**